

第4編 中期基本計画

政策1 住民の命と生活を守る まちづくり

- 災害対策 ○ 安心なまち
- 健康・医療 ○ 福祉

政策2 一人ひとりを大切にする みんなが住みよいまちづくり

- 環境
- 暮らしやすいまちづくり
- 新たな産業や働く場の創出
- 多様性の尊重と連携協働によるまちづくり

政策3 観光を中心とした共創による 儲かる地場産業のまちづくり

- 観光 ○ 水産業
- 農業 ○ 商工業

政策4 大洗の未来を担う 人財を育てるまちづくり

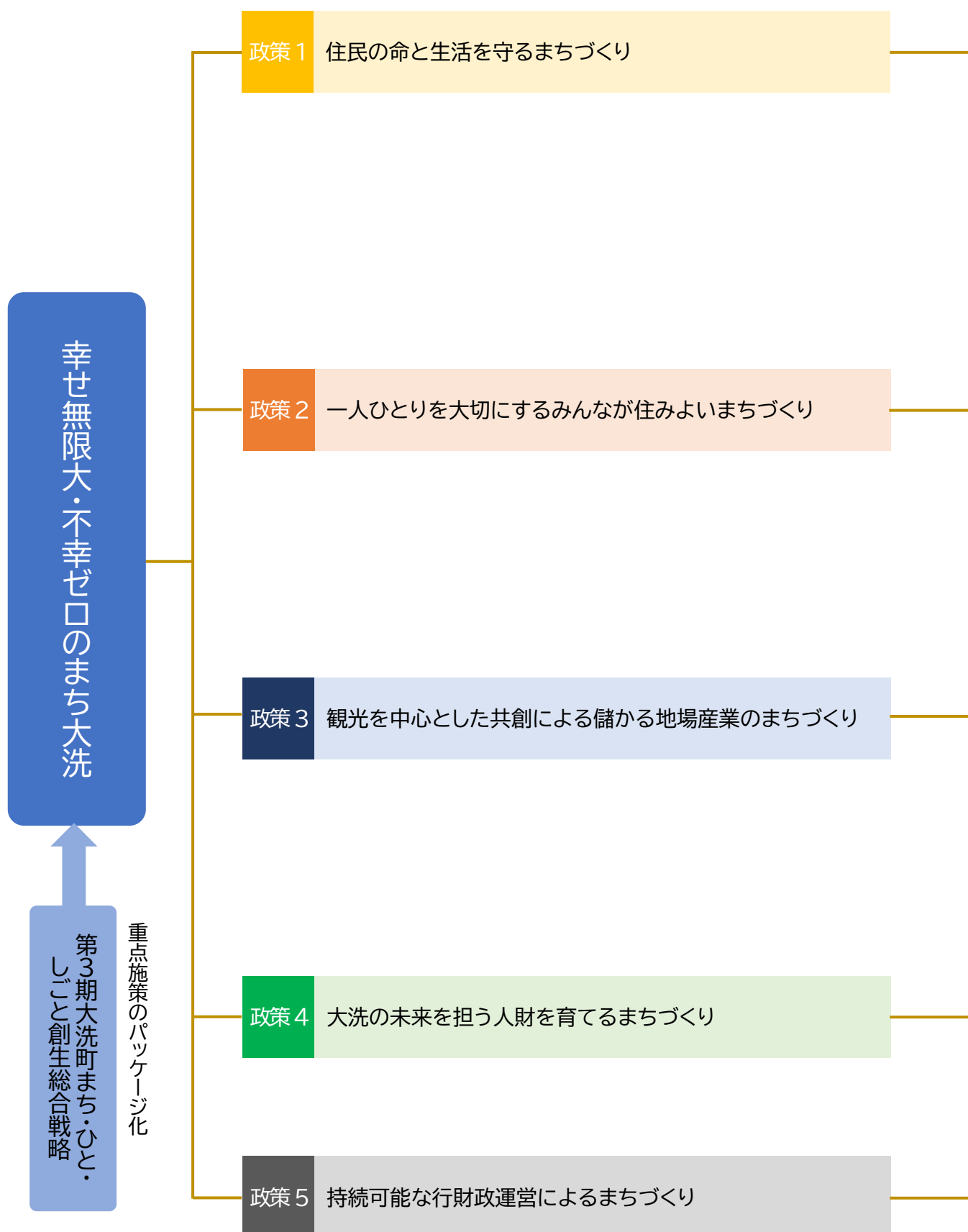
- 幼児期の教育・保育と子育て支援
- 学校教育 ○ 生涯学習

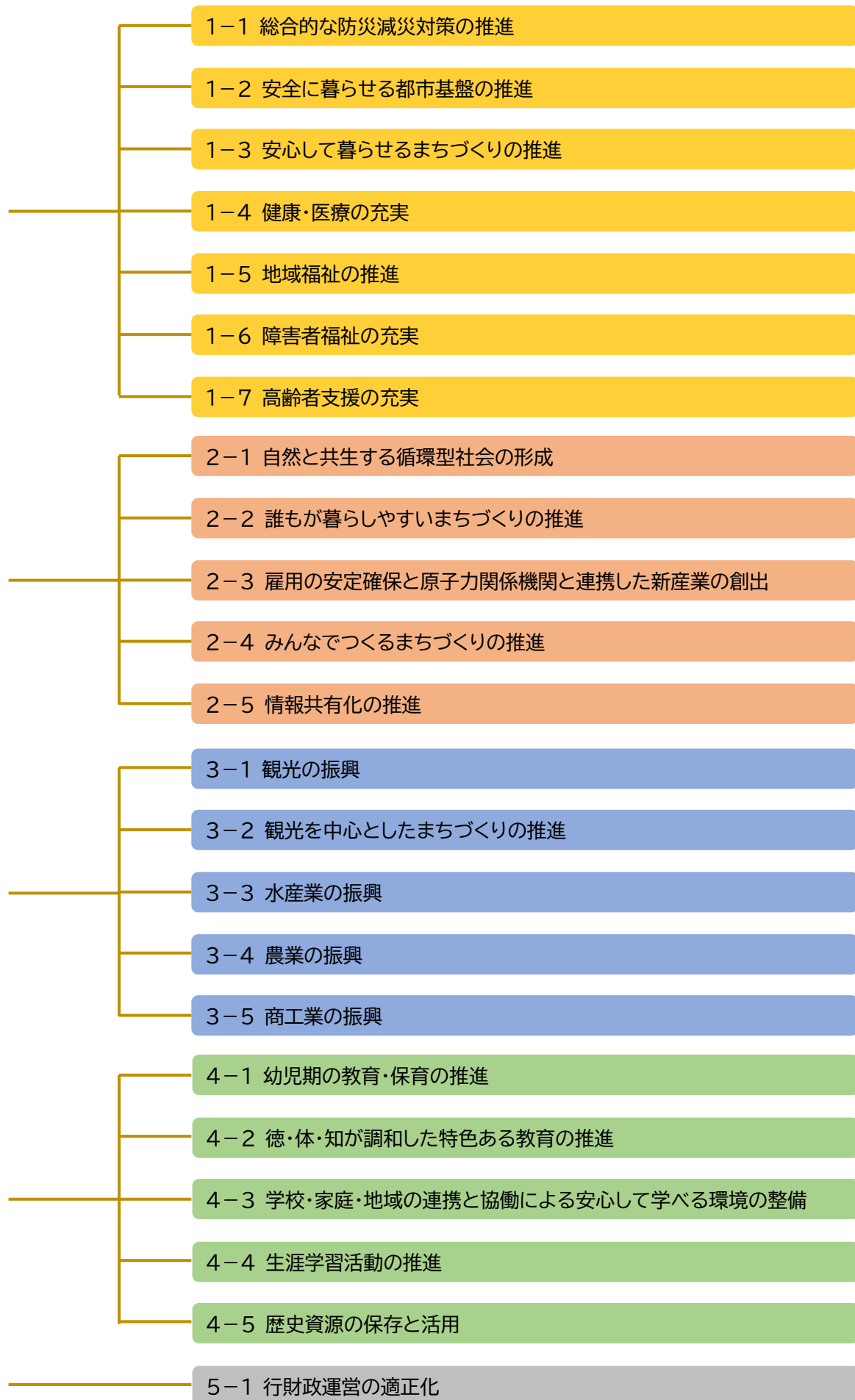
政策5 持続可能な行財政運営に よるまちづくり

- 行財政運営の適正化

第6次大洗町総合計画の施策体系図

(計画期間:2021年～2032年)





基本計画の見方

個別施策

施策の大綱の政策目標に基づいた個別施策を記載しています。

目指す姿

個別施策を推進することによる4年後の目指す姿を記載しています。

まちづくり目標値

目指す姿を達成するために数値を用いて成果(ゴール)を客観的に示しています。

なお、原則として現状値は直近の値、目標値は中期計画最終年度である令和10年度の値としています。

重点取り組み指標

目指す姿を達成するために重点的に取り組むべき事業等の目標値を客観的に示しています。

課題

目指す姿を実現するために解決しなければならない課題を記載しています。

政策3 観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり

施策3-1

観光の振興

目指す姿

地域資源を最大限に活かした持続可能な共創による観光地づくり

まちづくり目標値 [KGI]

観光入込客数

428万人 ⇒ 450万人
(資料:観光客動態調査)

観光消費額(宿泊)

30,467円/人(令和4年) ⇒ 36,000円/人
(資料:同上)

重点取り組み指標 [KPI]

(前期計画からの累計数)

施策	現状値 (令和5)	目標値 (令和10)
3-1-1 海を活用した新たなイベントの開催	3件	6件
3-1-1 釣り場環境の整備	未整備	1か所
3-1-2 サイクルサポートステーション(※)の拡充	11施設	15施設
3-1-3 地域資源を活用した新たなグルメ開発	4品	6品

施策分野における課題

- ▷ レジャーの多様化や少子高齢化により、海水浴利用者は低調に推移しており、通年での新たな海辺の賑わいなど多様な利活用が必要となっています。
- ▷ 共有の財産である地域資源を活用し、多業種が相互連携を図り、地域全体での観光地づくりが必要となっています。
- ▷ 繁忙月、閑散月及び休日、平日における観光入込客数の乖離があり、インバウンドも含めた観光需要の平準化が課題です。
- ▷ 町所有・民間所有に関わらず、遊休資産の活用が課題です。
- ▷ あんこう鍋に代表される地域グルメはあるものの、通年型観光に結びつける「食」を開発する必要があります。
- ▷ デジタルを活用した観光情報の発信が必要となっています。

用語解説

※のある用語について、解説を記載しています。

※サイクルサポートステーション

安全・快適なサイクリングのため、空気入れや工具の貸出等のサービスを提供する施設。